

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	22		利用定員に合わせ、香川県と協議を行い、指導訓練室や遊戯室を適切なスペースにしております。	
	2	22		法律の定めた配置数以上の職員数で支援に取り組んでおります。	
	3	22		各部屋の入り口には色を表示して視覚的にわかりやすい環境に配慮しております。また、部屋ごとの使用目的を明確にし、安心して過ごせる環境づくりを心がけております。室内はフラットですが、出入り口などの段差には職員が付き添い、安全に出入りできるよう見守りをしております。	
	4	22		毎日の掃除・消毒は欠かさず、定期的に換気も行ってまいります。生活空間・療育スペース・遊びスペースが分かれているので、児童が活動によって切り替えられるようになっております。	
業務改善	5	22		月に1回フレクシオン会議を実施し、振り返りを行いながら業務の改善に努めてまいります。当日参加できなかった職員にも内容を伝え、情報共有・認識一致に努めてまいります。	
	6	22		年に1度、保護者様にアンケートを依頼し、いただいたご意見は職員間で協議・検討し、改善策を話し合っております。	
	7	22		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	8	22		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
適切な支援の提供	10	22		より良い支援のために定期的なアセスメントを行い、保護者様から状況やご意見・ご要望などをお聞きし、支援計画に活かしてまいります。	
	11	22		標準化されたアセスメントツールを使用し、児童の状況や保護者様のご意見・ご要望など、漏らすことなく聞き取るよう努めてまいります。	
	12	22		児童発達支援ガイドラインを遵守し、計画立案や内容について、適応期間の定めにかかわらず、必要に応じて見直し、一人ひとりに合った具体的な支援内容を設定した支援を行えるよう取り組んでまいります。	
	13	22		支援計画の内容をもとに、児童一人ひとりの療育プログラムを設定し、支援計画・支援内容を共有するための打ち合わせを行っております。	
	14	22		管理者や児童発達支援管理責任者、また支援担当職員全員がチームとなって立案しております。	
	15	22		基本的には習慣化と定着を目指した繰り返しの活動を実施し、また、児童の発達に応じた個別の活動を考案し、状況に合わせて活動プログラムを工夫しております。	
	16	22		児童一人ひとりに合わせた個別支援を中心に実施しておりますが、児童の状況に合わせてさまざまな課題を勘案し、少人数での活動を組み合わせております。	
	17	10	12	毎朝、職員用の掲示板にその日の利用児童の情報や役割分担を掲示し、全員で共有しております。必要に応じて、その日の支援内容や児童の課題や気づき等、相談したり、情報共有しております。	
	18	18	4	支援終了後は、支援職員が管理者や児童発達支援管理責任者に報告し、情報は全体に周知できるよう努めてまいります。また、気づいた点など、共有するために記録に残しております。	支援職員全体での打ち合わせは難しいのですが、療育時に気になったことなど、その都度報告し、共有するよう努めてまいります。支援終了時だけでなく、話し合いの機会を増やし、より良い支援につなげられるよう努めてまいります。
	19	22		経過記録を記入し、振り返り、次の支援機会に活かせるよう努めてまいります。経過記録には、できたことだけでなく、苦手なことや課題も記録するようにしております。	
20	22		少なくとも6か月に1回はモニタリングを実施し、支援計画の見直しを行っております。		
関係機関や保護者様との連携	21	22		担当学会議には児童発達支援管理責任者が参加し、その内容は職員に周知しております。	
	22	22		関係機関との会議にも積極的に参加し、子育て支援等からいただいた情報は支援に活用させていただいております。	
	23	22		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	22		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっており、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	22		移行期間に関しては、担当学会議等を通して連携に努め、また園からの見学希望についても積極的に受け入れを行っております。	
	26	22		就学前に相談支援員や各関係機関とともに連携会議を行っております。	
	27	22		福祉医の先生にも適宜助言等をいただいております。また、他事業所とも情報交換を行い、助言を受けております。	
	28	22		本年度も事業所発信の交流機会は持てませんが、保育所等の訪問も行ってまいりますので、感染症の状況や保護者様のご意向によって、個別の対応は可能な状況となっております。	
	29	2	20	本年度は協議会への参加はありませんでした。	各協議会で研修などが開催される際には積極的に参加し、研鑽に努めてまいります。
	30	22		連絡帳を通して事業所内での様子をお伝えしたり、送迎時には家庭や園での様子をお聞きし、情報交換・共有を行い、共通理解に努めてまいります。	
保護者様への説明責任等	31	22		家庭連携や担当学会議などを通して、助言や支援に努め、ご要望や必要に応じて面談を行うなど、保護者様にも寄り添った支援を心がけてまいります。	
	32	22		ご契約時に契約書・重要事項説明書を通し、丁寧な説明を心がけてまいります。	
	33	22		ガイドラインに基づいて支援計画を作成しております。児童発達支援管理責任者が保護者様へ支援計画の内容を説明する際は、専門用語を避け、わかりやすい言葉を使うよう心がけ、また、丁寧に現状説明を行っております。	
	34	22		お悩みのご相談があった場合は、その都度助言を行うとともに、事業所内での様子を詳しくご説明するなど、保護者様へ寄り添い、積極的な関わりや言葉がけを意識しております。いただいたご質問やご相談は、その場での回答が難しい内容は一旦持ち帰り、早い回答を心がけてまいります。	
	35	22		保護者様同士の連携は、お求めにならない方もおられるので、事業所が中心となって介する機会は作れておりません。	保護者様の中にはお求めにならない方もおられるので、一堂に会する機会を難しいのですが、ご要望に応じて、企画・検討してまいります。
	36	22		保護者様からいただいたご意見に対しては、迅速に、丁寧に対応させていただきます。職員へも周知し、対応の徹底を心がけてまいります。	
	37	22		定期的に「COMPASS だより」を発行しております。また、事業所での連絡帳のカレンダーの裏面には「事業所だより」として、療育の様子や遊びの様子、行事の様子や新しい教材の紹介などを載せております。また、YouTube や公式 Web サイトのブログで、事業所の活動内容をご紹介しておりますので、ぜひご覧ください。	
	38	22		個人情報にかかわる内容については十分注意して取り扱っております。	
	39	22		児童には状況や特性に合わせた伝達方法を使い、保護者様にも連絡帳などを用いた文章で確認していただいたり、口頭でも専門用語を避け、丁寧な情報伝達を心がけてまいります。	
	40	22		本年度も事業所の行事に地域住民の方をご招待するような計画は行っておりません。	事業所利用を公にたくない保護者様もおられるので、慎重に保護者様のご意向を踏まえ、地域の方々との交流を企画・検討してまいります。
非常時等の対応	41	22		各マニュアルはすぐに確認できるよう室内に掲示しております。また、定期的に避難訓練を実施し、そのときの写真なども入口に掲示しております。	
	42	22		火事・地震・水害・不審者に対する避難訓練を実施し、利用児童の安全確保と、職員間の意識づけや、連携を図れるよう努めてまいります。	
	43	22		アセスメント時だけでなく、適宜保護者様に確認し、てんかん・痙攣等のある児童の情報（注意事項）を文面に起こし、関連する情報と一緒に掲示し、周知しております。	
	44	22		アセスメントや保護者様に確認を行い、利用児童のアレルギーについては全職員が把握し、対応しております。	
	45	22		ヒヤリハットが発生した場合、詳細に記録し、共有しております。事例集は職員間で共有し、定期的に振り返りを行い、再発防止と、事故の未然防止に努めてまいります。	
	46	22		事業所内でも虐待防止研修会を実施し、全職員で討議しております。	
	47	22		利用契約書には、身体拘束の禁止を記載しており、生命または身体を保護するために、やむを得ず身体拘束を行う場合には、あらかじめ文書により保護者様の同意を得るよう義務付けられております。	

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。